

にぎりまんま

塾

みんなで協力し合いがんばりました

これから小学校へ行ってきま〜す!



九月十八日(月)〜二十三日

(土)までの五泊六日の日程で、鶴田町公民館で、「にぎりまんま塾」が開校されました。今年は町内六つの小学校から五、六年生の三十人(男六人、女二十四人)が参加し、二十九人の指導員の協力の下、親元を離れて共同生活を体験しました。合宿中は、おやつ、ゲーム、テレビは無しという厳しい生活。環境の変化で熱を出したり、体調を崩した参加者も何人かいました。しかし最終日には保護者を招待し、手作りのおにぎりやデザートなどを振るまいさよならパーティーを開催。全員元気に修了証書をもらい、公民館から巣立って行きました。

にぎりまんま塾の目的

- ◎保護者の手を離れ、子どもたちに生活の実体験を提供する。
- ◎町内の同年代の子どもたち同士が、協力し合いながら生活することによって協調性をはぐくむせる。
- ◎子どもたちに買い物や料理・掃除・洗濯や布団の上げ下ろしなどを体験させることによって自主性、自立性を養い、家庭や家族の大切さを見つめ直す機会を提供する。
- ◎公民館事業を通して文化と創造の世界に触れさせる。

塾生のみんなへ

皆さんはこの合宿で、「家族の優しさ」「仲間の大切さ」が十分分かりました。おやつ、ゲーム、テレビの無い生活で、弱音を吐かずがんばってくれました。このように期間の長い通学合宿は、全国的にも珍しく誇れる事業です。スタッフの支えや大学生の応援に感謝してください。そして一度きりのこの出会いを大切にしてください。

(長谷川美保子塾長)

開校式と比べて皆さん立派な態度になりました。合宿中は思うようにならなかったこと、友達とぶつかることもあったと思います。その一つ一つを解決したがんばりが、いい表情に表れています。この経験がなんらかの形で生きると思います。これからの活躍を期待します。

(小笠原慎逸教育長)



△長谷川塾長(菖蒲川小学校長)

自分から進んで参加しました。今まで掃除は手伝ったことはあつたけど、料理、洗濯は初めてで、洗濯物を干すのがちよつと嫌だった。今回の合宿で食べ物の大切さ、親の苦労が分かった。班の人とも協力して生活できてとても良かった。これからの生活にきつと役立つと思う。



(左) 成田智くん(梅沢小6年)



(左) 倉内悠奈さん(鶴田小6年)

去年参加して楽しかったのですが今年も参加しました。班長だったのでも、みんなのばらばらの意見をまとめるのが大変でした。ちよつとしたことでけんかもしたけど、みんな協力をしてくれたのが心強かったです。今回の合宿は例えようのないくらい楽しかったです。



今夜のメニューは？

自分の寝床をしっかりと確保

まじめにお掃除してますよ

上手に洗濯できたかな？

大きなお風呂で気持ちいい～

カートいっぱいのお料理品

合宿タイムスケジュール									
5時45分	起床	小学校							
6時00分	朝食準備・清掃								
6時45分	朝食後片付け								
7時15分	登校準備	小学校へ出発							
7時30分	小学校へ出発								
16時50分	公民館へ帰宅後買い物 (スーパーなどへ)								
17時00分	夕食準備・掃除・洗濯	夕食後片付け							
18時30分	夕食後片付け								
19時30分	入浴(鶴遊館)または 昔の話を聞いたり、ペ ーパーフラワー教室な どを体験								
20時30分	学習の時間(予習・復 習・一日の反省)	夕食の集い							
21時30分	夕食の集い								
21時45分	就寝準備								
22時00分	就寝								



昔話しの読み聞かせ

ペーパーフラワー作り

全員でジンギスカンを踊ってます

スタッフ打ち合わせ

料理でお世話になった女性スタッフの皆さん

※「にぎりまんま塾」のスタッフは、一生懸命子どもたちをサポートしてくれま。来年も開校しますので、興味を持った子どもたちは、ぜひ参加してみてください。

今までこんなに長く子どもたちと寝食を共にしたことが無かったので、学校とは違った一面を見れて良かった。子どもたちはいつもはベッドで寝ているためか、ふとんのたたみ方を知らなかったり、リボン結びが出来ないのにはびっくりした。子どもたちは親元を離れて親のありがたさを感じたのではないかと思う。わたしもほかの方々の指導方法を見てすぐく勉強になった。わたしは教職を目指しているの、これから自分がどのように子どもたちと関わっていかたいか再確認できてとても良かった。



（左）藤田清代さん（弘大教育学部4年）

指導員として活躍してくれた大学生の皆さん

ちょこっとインタビュー